

令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大阪市立今福小	学校
---------	----

児童数	19
-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	15.27	21.91	29.45	43.00	50.09	9.09	139.55	23.27	52.64
大阪市	15.70	19.17	33.01	38.63	45.42	9.52	148.43	20.76	51.54
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
女子	16.33	19.00	37.83	37.00	25.17	10.38	129.29	13.00	50.33
大阪市	15.40	18.33	37.58	36.86	35.15	9.83	139.41	12.67	52.58
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

結果の概要

各種目の結果で大阪市と全国の平均を上回っているのは、男子は「上体起こし」「反復横跳び」「20mシャトルラン」「50m走」「ソフトボール投げ」の8種目中5種目であった。女子は「握力」「上体起こし」の2種目であった。体力合計点は、大阪市と比べて男子は1.1ポイント上回り、女子は2.25ポイント下回った。

「運動やスポーツをすることは好きですか」の質問では、男子は72.7%で全国と同じで大阪市より1.6ポイント下回った。女子は42.9%で大阪市、全国より約11ポイントも下回っていたが、「好き」「やや好き」を合わせると100%であった。1週間の総運動時間が60分未満の児童生徒の割合は、男子が0%（大阪市11.7%、全国9.8%）、女子が16.7%（大阪市20%、全国17.3%）であった。

「体育の授業で、目標（ねらい・めあて）を意識して学習することで、『できたり、わかったり』することがありますか」の質問での肯定的回答は、男子が91.7%、女子が85.7%であった。男子は「できなかったことができるようになったとき」に、女子は「友達と交流したり、協力できたとき」に体育の授業が楽しいと答えている児童が多かった。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

体育の授業では、ねらいやめあてを明確にし、意識して学習に取り組むことで、「できた」を実感することができてきた。また、友だちとお互いに教えあったり、交流したりする時間を設定し、個人の伸びや成果を指導者や友だちが認め励ますことで意欲的に活動することにつながった。引き続き、個人の力を試せる場の工夫をし、一人一人にめあてを持たせ、学習の成果を認め励ますことで、運動への意欲を高めていきたい。

体育の授業以外の時間では、15分休みに運動委員会の児童が週1回全校での楽しい遊びを企画し、児童に呼びかけ実施している。また、年2回たてわり班で大縄跳びにチャレンジする週間を設定し、少しでも楽しんで運動ができるようにしている。2月には「今福ランニングタイム」週間を設定し、体力や持久力を高められるようにしている。

今後も多様な運動を経験させたり、学級や全校で遊ぶ時間を作ったりして少しでも運動量を増やし、体を動かす楽しさや気持ちよさを感じさせていきたい。そして、生涯にわたって運動に親しむことのできる素地を作っていきたい。